

CHIBA 赤十字
NOW

2022
Vol. 57



【特集】

やさしいところを未来へつなぐ

やさしいこころを 未来へつなぐ 青少年赤十字 創設100周年記念

「困った人、苦しむ人を見たら何かしてあげたい」という誰の心の中にもある気持ち。その「やさしさ」や「思いやり」の心を引き出し、育てる。そして、自分や周りの人のいのちと健康を大切に
する心、社会のため人のために尽くす奉仕の心、広く世界を知り助け合う心を養うことを目的に、青少年赤
十字はさまざまな活動を学校教育の中で展開しています。

100年つづく赤十字の教育活動

青少年赤十字は、第一次世界大戦中(1914年-1918年)、カナダ、アメリカ、オーストラリア、イタリアの児童がヨーロッパで被災した児童たちに慰問品や手紙を贈って力づけようと、赤十字に依頼したことがきっかけで誕生しました。日本では、1922年に「少年赤十字」として発足し、1923年関東大震災での被災者に対し、食糧支援や文房具支援をしたことが最初の活動と言われています。創設から100年を迎えた現在では、全国で約14,000校が青少年赤十字を採用し、340万人以上の青少年赤十字メンバーがいます。



本社総会に参加した少年赤十字団代表

さまざまな実践活動

「やさしさ」や「思いやり」の心を育てるために、青少年赤十字は、子どもたちが「気づき、考え、実行する」過程を重視し、さまざまな実践活動を行なっています。それは、豊かな人間性ととも「生きる力」を養うという教育の使命と相通じることから、子どもたちの学びの場である学校に組織され、それぞれの学校の教育方針に基づいて先生が指導者となって活動を展開しています。

健康・安全

いのちと健康を大切にする

基礎的な応急手当の習得、災害に対する備えなど、健康・安全のための知識や技術を学びます。



救急法
などの講習

炊き出し
体験



奉仕(ボランティア活動)

社会的に弱い立場にある
人々を手助けする

高齢者、視覚障がい者の疑似体験や点字学習、手話学習を通じて、手助けが必要な人への理解を深めます。



高齢者
疑似体験

点字学習



国際理解・親善

広く世界の青少年を知り
仲良く助け合う精神を養う

赤十字のネットワークを通じて、世界が抱える諸問題を学んだり、海外の仲間たちとの交流を通じて、国際理解を深めます。



国際交流

コロナ禍では
オンライン
交流!!



「気づき、考え、実行する」スタセン

12月25日(土)から28日(火)にかけ、千葉県内の小学生・中学生・高校生を対象にした研修「スタディー・センター」(通称スタセン)を開催しました。この研修は、青少年赤十字の最も特徴のある教育プログラムの1つで、集団生活体験を通して自ら「気づき、考え、実行する」子どもを育てることを目的に開催しています。学校生活から離れ、他校の子どもたちとのグループワークやホームルームでの話し合いを通じて、リーダーシップやメンバーシップの取り方などを学びます。

小学生のスタセンに密着！ スタセンの特徴的な教育プログラムとともにご紹介します

ボランティア・サービス(V・S)

V・Sとは自他が「ともに生きる」ための自発的な活動のこと。相手の立場に立ち、相手が必要としていることに気づき、自分の能力に応じて何ができるか考え、実行することで「気づき、考え、実行する」態度を養います。



絵本「ハチドリのひとつく」を題材にボランティアとは何かを話し合いました

フィールドワーク

スタセンの総仕上げとして、グループごとに野外活動を行ない、決められたさまざまな課題をクリアしながらグループで協力してゴールを目指します。協調性や親睦増進を図るほか、研修で学んだ知識や技術、態度をどれだけ身につけたか知る良い機会にもなります。



血液センターでは輸血用の血液を保存する-30℃の冷凍庫の中を見学



ポートタワーでは仲間と作った俳句を海に向かって叫びました

合図のない生活

「誰も号令をかけない、かけられない生活」の中で自己管理を促します。



先生の号令はなく行動の基礎となる情報は掲示板に掲示します



みなと公園では「協力」を表すポーズで記念撮影



義肢製作所では義足や義手に触れました

先見

先を見通した考えや行動をすること。友達と話すことなく、自分と向き合うための時間を持つことで、これまで学んだことを整理し、次のプログラムで自分がどのように行動すべきか考えることができます。



今後の見通しを立てそれに備えて行動することを意識づけます



災害シミュレーションでは三角巾を使ってけが人を手当て



研修中にがんばって練習した心肺蘇生も役立ちました

参加した子どもたちの声

「困っている人を見つけたら、声をかけたり手伝いをしたい」
「自分だけでなく、他の人の話もしっかりと聴けるようになった」
「今までは気づいていても行動できなかったが、少し行動できるようになった。これからもっとがんばりたい」

教育現場からの声

青少年赤十字活動に取り組む子どもたちは、例えばどこかで災害が発生した時「先生、大変だよ!何かしようよ」と言って募金活動に取り組むなど、他者に対しての思いやりの心、そして自分で考え行動できる力が育っていると感じます。学習指導要領では、「生きる力」を教育の柱に掲げ、それを「自ら学び、考え、主体的に判断する能力」と位置付けており、まさに青少年赤十字の理念はそれに結びつくものと言えます。また、青少年赤十字には「先見」など学級経営にすぐに活用できる考え方や手法があるため、ぜひ多くの学校や先生方に取り入れてもらいたいです。

教師のための指導力アップセミナー

当支部では、千葉県青少年赤十字指導者協議会と協力して、レクリエーション、グループワーク、話し合いの仕方、スピーチの方法など、先生方が学級経営に使える手法を学ぶ体験型セミナーを毎年開催しています。ベテランの鈴木先生からも「毎回講師として参加していますが、とても勉強になります!」との声をいただいております。



南房総教育事務所
(安房分室)指導主事
鈴木 美映子先生

青少年赤十字OBの声

私は高校時代に千葉県の青少年赤十字高校生メンバーの代表として、県内の高校生メンバー同士の交流会や研修会の企画・運営をしていました。研修会では、車いすの扱い方や手話学習など福祉体験に力をいれました。活動を通して、知らない人と一緒に活動するための環境作りを学び、そのことが慣れない環境に挑戦する自信にも繋がりました。また、今でも印象に残っている活動は、トレーニング・センターやスタディー・センターなどの集合研修です。そこで活動を共にした魅力的な仲間から刺激を受け、学校に赤十字活動を持ち帰って広げるなど新たな活動にも結びつきました。

青少年赤十字での経験は、今の自分自身を支えています。活動中の青少年赤十字メンバーの皆さんにとっても、青少年赤十字が素敵な経験になることを願っています。



元青少年赤十字メンバー/
現青年赤十字奉仕団員
保坂 隆裕さん

赤十字では、今後も、学校関係者の皆様に青少年赤十字の目的や意義を理解していただき、青少年赤十字採用校の輪を広げていきます。

もっとくわしく知りたい方はこちら

日本赤十字社千葉県支部 組織普及課青少年係

☎043-241-7531 ✉soshiki@chiba.jrc.or.jp



青少年赤十字



すぐ使える
学習支援プログラム・教材

News & Report

災害に備えて警察と連携! 「広域緊急援助隊合同訓練」に参加しました

12月16日(木) 富津市を会場に「令和3年度関東管区広域緊急援助隊合同訓練」が開催され、当支部および成田赤十字病院の救護班が参加しました。

『広域緊急援助隊』とは、各都道府県警察に設置されている災害警備活動を行う部隊で、大規模災害に即応でき、かつ高度な救出救助能力等を持つ災害対策専門のエキスパートチームです。本訓練は、土砂災害や首都直下地震の発生を想定したもので、広域緊急援助隊をはじめとした警察のほか、自衛隊、消防、医師会、DMATなど関係機関から約250名が参加した実践的な訓練となりました。

赤十字救護班は、DMATと協力し、応急救護所の設営、運び込まれる負傷者のトリアージ及び応急手当を行いました。

赤十字では、災害発生時における応急救護の対応力向上や他機関との連携強化を図るため、このような訓練に積極的に参加しています。



感謝の気持ちを込めて…

日本赤十字社有功章等贈呈式及び 紺綬褒章・厚生労働大臣感謝状伝達式を開催

赤十字が行う様々な人道支援事業に深いご理解をいただき、多額の寄付を寄せられた法人や個人の皆様を対象に、11月19日(金)千葉県赤十字会館において「日本赤十字社有功章等贈呈式及び紺綬褒章・厚生労働大臣感謝状伝達式」を開催しました。

万全の感染対策を実施したうえで、今回は個人21名・法人37社の方々にご出席いただき、熊谷支部長(千葉県知事)から受賞者の皆様に感謝状などを贈呈しました。熊谷支部長からは「赤十字活動を継続できておりますのは、皆様からのご支援がとても大きなものとなっております。今後とも、『人のいのちと健康、尊厳を守る』ことを使命とした人道的活動に全力で取り組んでまいりますので、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます」と挨拶がありました。



第39回NHK海外たすけあいキャンペーンへのご協力ありがとうございました

千葉県内「NHK海外たすけあいキャンペーン」募金総額
1,868,307円(1,139件)

第39回NHK海外たすけあいキャンペーン(12月1日～12月25日)を通じてお寄せいただいたご寄付は、バングラデシュの難民・避難民をはじめ、アジア各地で起きた洪水の被災者やアフリカで貧困や感染症に苦しむ人々など、世界中で苦しんでいる人々に多くの支援を届けることとしています。

私たちは、「救うを託されている」赤十字として、誰一人取り残さないよう、引き続き必要な支援を届け続けます。

皆様お一人おひとりのご支援に深く感謝申し上げますとともに、引き続き皆様からの信頼にお応えするべく尽力してまいります。



3/5

AEON MALL ×
イオンモール幕張新都心

日本赤十字社 千葉県支部
Japanese Red Cross Society

楽しく学べる防災イベント『家族で楽しく学ぼうさい!』

SDGsに取り組むイオンモールと人間のいのちと健康を守る赤十字は、地域・家庭における防災意識を高めるため、コラボイベントを開催します！ステージショーやクイズラリーを通じて、防災について楽しく学ぼう！

チュパチュパワンダーランドによる防災ステージショー

千葉テレビ放送の教育エンターテインメント番組『チュパチュパワンダーランド』の人気キャラクターたちによる防災教育をメインにしたステージショー！

開催日：2022年3月5日(土)

時間：11:00～、13:00～

14:00～、15:00～

各回15分程度(予定)

会場：イオンモール幕張新都心
グランドモール1階 グランドスクエア

参加費：無料

申込：事前WEBチケット申込みが必要です

キャプテン☆C
ダスターD
さとみおねえさんが
待ってるよ～!



防災クイズラリー

館内各所に設置する防災クイズに挑戦しよう！参加者には抽選で防災グッズや非常食などノベルティをプレゼント♪

開催日：2022年3月5日(土)

時間：10:00～16:00

会場：イオンモール幕張新都心
グランドモール館内

受付・抽選会場：グランドモール1階
グランドスクエア

参加費：無料

申込：不要

くわしくは、当支部ホームページをご覧ください！

※上記のイベント情報は、2月1日現在の情報です。今後、国内における新型コロナウイルスの感染状況等によっては中止となる場合があります。

「赤十字NOW」 読者アンケート

よりよい広報紙をお届けするため、皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください



憩いの広場「糸杉」オープン

千葉県赤十字会館1階に、憩いの広場「糸杉」がオープンしました。館内で活動されるボランティア、義肢製作所の利用者など、来館者の皆様のためのくつろぎスペースですので、当館にお越しの際はぜひご利用ください。



ご利用時間
午前9時から午後5時まで



活動資金 協力企業 (団体)の ご紹介

日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。赤十字のサポーターとして、活動を支えていただく「大きな力」となっています。ご協力、誠にありがとうございました。

※ 令和3年度第2四半期に千葉県支部へ直接10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了解いただいた法人(団体)のお名前をご紹介します。なお、千葉県支部ホームページにおいてもご紹介しています。(敬称略・五十音順)

行政書士法人 内田総合事務所(千葉市美浜区)
医療法人社団 芳友会 大久保クリニック(千葉市緑区)
ケージーサービス株式会社(松戸市)
株式会社サンタクロース(市原市)
株式会社 シング・ラボラトリー(柏市)

新日本建設株式会社(千葉市美浜区)
伸和ピアノ株式会社(千葉市花見川区)
有限会社 創和設備設計(千葉市中央区)
株式会社 坪井設計(船橋市)
株式会社 D J K 千葉テクニカルセンター(野田市)

株式会社 東総理工(銚子市)
フジフーズ株式会社(千葉市美浜区)
株式会社 マルコウ中村組(市原市)
みはらデンタルクリニック(佐倉市)
株式会社 リロスタイル(市川市)

